

Retek® Data Warehouse Web 2.2.2



インストールガイド



企業本部

Retek Inc.
Retek on the Mall
950 Nicollet Mall
Minneapolis, MN 55403

888.61.RETEK (toll free US)
+1 612 587 5000

本マニュアルで説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとに提供され、その契約条件に従う場合にのみ使用できます。

欧州本部

Retek
110 Wigmore Street
London
W1U 3RW
United Kingdom

電話番号 (代表):
+44 (0)20 7563 4600

セールス窓口:
+44 (0)20 7563 46 46
Fax: +44 (0)20 7563 46 10

本マニュアルの情報は予告なく変更されることがあります。

Retek は内容の保全を図るため、製品資料を読み取り専用フォーマットで提供します。Retek カスタマサポートは、Retek の許可なく変更された資料についてはサポート致しかねます。

Retek 日本オフィス

〒107-0061
東京都港区
北青山 3-6-7
青山パラシオタワー 11F
+81 (0)3 5778-7620
Fax: +81 (0)3 5778-7640

Retek® Data Warehouse™ は、Retek Inc. の商標です。

Retek、および Retek のロゴは、Retek Inc. の登録商標です。

©2002 Retek Inc. All rights reserved.

本マニュアルで言及されている他の製品名はすべて、各社の商標または登録商標であり、それに準じた取り扱いをする必要があります。

米国にて印刷。

カスタマサポート

カスタマサポート時間帯:

中央標準時 (GMT-6) に基づく月曜日から金曜日の 8AM ~ 5PM。Retek 社の休業日 (2002 年度は 1/1、5/27、7/4、7/5、9/2、11/28、11/29、12/25) を除く。

緊急時カスタマサポート時間帯:

週 7 日間 (24 時間)。

お問い合わせ方法 連絡先

電話	米国およびカナダ: 1-800-61-RETEK (1-800-617-3835) その他の地域: +1 612-587-5000
FAX	(+1) 612-587-5100
電子メール	support@retек.com
インターネット	www.retek.com/support Retek 社のお客様向け Web サイトです。問題に関する最新の情報を参照することができます。
メール	Retek カスタマサポート Retek on the Mall 950 Nicollet Mall Minneapolis, MN 55403

カスタマサポートにご連絡いただく前に、下記の内容をご確認ください。

- 製品のバージョンおよびプログラム/モジュールの名前
- 具体的、技術的な症状 (業務に与える影響を含む)
- 問題の詳細な再現手順
- 正確なエラーメッセージ
- 問題の操作を確認できるスクリーンショット (手順ごと)

目次

第 1 章 概要	1
要件	1
MicroStrategy バージョン	1
Retek Data Warehouse バージョン	1
データベース	1
Web サーバマシン	2
Intelligence Server マシン	2
クライアントマシン	2
ユーザー権限	3
RDW Web のアップグレード	4
RDW Web 2.x	4
RDW Web 1.0 または RDW EIS	4
第 2 章 RDW Web のインストール	5
設定ユーティリティの実行	5
ファイルのインストール	5
Web サイトの作成	5
追加設定	6
第 3 章 MicroStrategy Web の設定	7
Intelligence Server の接続	7
第 4 章 RDW Web の初期化	9
既定のプロジェクトプロパティの初期化	9
付録 A RDW Web 設定チェックリスト	11
付録 B よく寄せられる質問	13
付録 C RDW EIS または RDW Web 1.0 の削除	15
データベースオブジェクトの削除	15
RDW EIS	15
RDW Web 1.0	15

仮想ディレクトリの削除	16
RDW EIS.....	16
RDW Web 1.0	16
DLL の削除	16
ファイルおよびフォルダの削除	16

第 1 章 概要

このマニュアルでは、Retek Data Warehouse の Web ベースレポートアプリケーション (RDW Web) のインストール方法について説明します。システム要件、インストールとセットアップ、および MicroStrategy Web 設定が記載されています。

重要:

各 RDW Web リリースおよびパッチ CD には、設定ユーティリティが添付されています。この設定ユーティリティにより、完全な RDW Web インストールが実行されます。RDW Web を最初にインストールするときは、常に最新の RDW Web 設定ユーティリティを実行してください。RDW Web パッチを適用する場合は、既存の RDW Web インストールの上に最新の RDW Web 設定を実行します。

最新の RDW Web パッチ または リリース CD の詳細については、Retek Customer Care (support@retek.com) にメールで問い合わせるか、1-800-61-RETEK (1-800-617-3835) に電話してください。

要件

MicroStrategy バージョン

RDW Web 2.2.2 には MicroStrategy 7.1.5 が必要です。現在のバージョンの詳細については、リリースノートを参照してください。

Retek Data Warehouse バージョン

RDW Web 2.2.2 は、MicroStrategy 7.1.5 プラットフォームで動作する RDW のすべてのバージョンと互換性があります。MicroStrategy 7.1.5 にアップグレードされた RDW の古いバージョンや、MicroStrategy 7.1.5 でリリースされた RDW の新しいバージョンなどです。

データベース

RDW Web 2.2.2 は、MicroStrategy 7.1.5 がサポートするすべてのデータベースプラットフォームで動作するように設計されています。

Web サーバマシン

RDW Web 2.2.2 を使用するには、Web サーバに Windows 2000 および Internet Information Services (IIS) 5.0 が必要です。さらに、MicroStrategy Web 7.1.5 が Web サーバにインストールされていること、そして 1 つ以上の Intelligence Server と接続することが必須です。

- MicroStrategy Web のインストール手順およびサーバのサイズ変更要件については、『MicroStrategy Intelligence Server、Web、Architect、Agent、および Administrator のインストールと設定ガイド - バージョン 7.1』を参照してください。
- Intelligence Server を MicroStrategy Web に接続する方法については、このマニュアルの第 3 章を参照してください。

Intelligence Server マシン

MicroStrategy Intelligence Server 7.1.5 は、Web サーバとは別のマシンで利用できるようにする必要があります。

サーバのサイズ変更要件については、『MicroStrategy Intelligence Server、Web、Architect、Agent、および Administrator のインストールと設定ガイド - バージョン 7.1』を参照してください。

クライアントマシン

RDW Web 2.2.2 が動作するクライアントのブラウザは、次のいずれかの要件を満たす必要があります。

- Internet Explorer 4.01 ～ Internet Explorer 6.0
- Netscape 4.0 ～ Netscape 4.78

重要: サポートされているブラウザの最新バージョンの使用を推奨します。

クライアントが RDW Web のエクスポート機能を使用して Microsoft Excel や Microsoft Word にレポートをエクスポートする場合、これらのアプリケーションの以下のバージョンをクライアントマシンにインストールする必要があります。

- Microsoft Excel 2000 SR-1 または Microsoft Excel 97
- Microsoft Word 2000 または Microsoft Word 97

重要:

Microsoft Excel 2000: Microsoft Excel 2000 には既知の問題があるため、RDW Web エクスポート機能を正常に動作させるには、クライアントマシンに SR-1 をインストールする必要があります。

Microsoft Word 97: RDW Web エクスポート機能を Microsoft Word 97 で使用するには、クライアントマシンに Web Page Authoring (HTML) for Word 97 をインストールする必要があります。

RDW Web から正常にエクスポートできるように Microsoft Word を設定するには、次の手順に従います。

- 1 Word の [ツール] メニューで、[オプション] をクリックします。[オプション] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [全般] タブで、[文書を開くときにファイル形式を確認する] チェックボックスをオンにします。
- 3 **[OK]** をクリックします。

RDW Web から Word 97 にエクスポートする場合、[変換元のファイル形式:] で [HTML ドキュメント] を選択して **[OK]** をクリックします。

ユーザー権限

RDW Web ユーザーは、MicroStrategy Desktop User Manager によって作成および管理されます。ユーザーには、Desktop ユーザーと RDW Web ユーザーがあります。ユーザーが Administrator または End User として RDW Web に認識されるようにするには、少なくとも以下の権限が必要です。

RDW Web Administrator:

- Web ユーザー
- Web 管理
- オブジェクトのセキュリティアクセスチェックをすべてバイパス

RDW Web End User:

- Web ユーザー

必要に応じて、追加のユーザー権限を割り当てることができます。RDW Web インターフェイスは、Desktop を介してユーザーに割り当てられた権限に基づいて、表示内容やユーザーがアクセスできる機能を決定します。

重要: RDW Web は、MicroStrategy Web API を使用します。MicroStrategy Web API は、基本となる Java オブジェクトを使用して操作を実行します。このため、RDW Web は現時点ではユーザーに対する NT 認証をサポートしていません。

RDW Web のアップグレード

RDW Web 2.x

RDW Web 2.x から RDW Web 2.2.2 にアップグレードするには、このマニュアルの第 2 章の手順に従います。

RDW Web 1.0 または RDW EIS

基本となる MicroStrategy Business Intelligence プラットフォームに加えられた変更、およびアプリケーションアーキテクチャに加えられた変更のため、RDW Web 2.2.2 には前のバージョン (RDW Web 1.0 および RDW EIS) との下位互換性がありません。RDW Web ではデータウェアハウスのデータの格納または修正は行われないので、あらかじめタブおよびフォルダの設定をメモしておき、MicroStrategy 7 へのアップグレードと RDW Web 2.2.2 のインストールを行ってから設定を再度割り当てることを推奨します。さらに、RDW EIS または RDW Web の Web ページに対するカスタマイズも、すべて RDW Web 2.2.2 に再度割り当てる必要があります。RDW EIS または RDW Web 1.0 を以前に使用していたクライアントについては、「付録 C」に記載されている RDW Web 2.2.2 に移行するときのシステムのクリーンアップ方法を参照してください。

第 2 章 RDW Web のインストール

設定ユーティリティの実行

ファイルのインストール

RDW Web に含まれている設定ユーティリティにより、すべての必要なファイルが Web サーバマシンにインストールされます。設定ユーティリティはファイルバージョンと依存性をチェックし、RDW Web に対する設定が適切に行われていることを確認します。

ユーティリティによってインストールされるアイテムは、以下のとおりです。

- RDW Web の Web サイトファイル
- MicroStrategy 7.1.5 配布可能ランタイム環境
- Microsoft XML 3.0
- Microsoft データアクセスコンポーネント

RDW Web 設定ユーティリティを実行するには、RDW Web インストール CD 内の \Installation フォルダの setup.exe をダブルクリックします。

Web サイトの作成

RDW Web 設定ユーティリティは、RDW Web の Web サイトの作成も行います。インストーラを実行するときに特に指定しない限り、IIS の既定 Web サイトの下に rdwwweb という名前の仮想ディレクトリが既定で作成されます。設定ユーティリティは、RDW Web に必要な仮想ディレクトリのプロパティ設定も行います。参考として、これらのプロパティを次に示します。

- [Default Document] は有効で、login.asp に設定
- エラー 500 の [Custom Error] ページ (100 は RDWWebError.asp に設定)
- [Execute Permissions] は、[Scripts] および [Executables] を実行できるように設定
- [Application Protection] は、[Low (IIS Process)] に設定

追加設定

RDW Web が持っている既定のオペレーティングシステム権限では、MicroStrategy Web によって作成された XML データファイルにアクセスできない場合があります。有効な MicroStrategy ユーザーが、MicroStrategy Web でプロジェクトに接続できても RDW Web で接続できない場合は、フォルダ `<full path>\MicroStrategy\Web\Admin` への匿名アクセスに使用される Windows ユーザーアカウントに“読み取り”権限を与える必要があります。

RDW Web に対する読み取り権限を与えるには、次の手順に従います。

- 1 フォルダ `<full path>\MicroStrategy\Web\Admin` に移動します。
- 2 フォルダを右クリックして [プロパティ] を選択します。
- 3 [セキュリティ] タブをクリックして **[追加]** をクリックします。
- 4 匿名アクセスに使用されるアカウントを選択します。既定では、Windows ユーザーは `IUSR_ComputerName` という名前のアカウントをインターネットゲストアカウントとして使用します。
- 5 [読み取りアクセス] チェックボックスだけをオンにします。
- 6 **[適用]** をクリックして変更を有効にします。

第 3 章 MicroStrategy Web の設定

Intelligence Server の接続

RDW Web は、MicroStrategy Web を使用して MicroStrategy Intelligence Server を Web サーバーマシンに接続します。RDW Web を使用するには、MicroStrategy Web Administration を介して 1 つ以上の Intelligence Server を接続する必要があります。

Intelligence Server を接続するには、次の手順に従います。

- 1 Web ブラウザで、[MicroStrategy Web Administration] ページ (<http://<webserver>/microstrategy7/admin>) を開きます。
- 2 [Add a server manually] フィールドで、Intelligence Server マシン名を入力します。[Add a server manually] フィールドの隣の **[Connect]** をクリックします。
- 3 これで Intelligence Server が接続され、有効なプロジェクトがタブとしてページの上部に表示されます。

重要: 必要に応じて追加の Intelligence Server を接続できます。ただし、Intelligence Server がクラスタ化されている場合、クラスタ化されたノードの 1 つを MicroStrategy Web に接続する必要があります。Intelligence Server のクラスタ化の詳細については、『MicroStrategy Administrator、Intelligence Server、および Web Administrator ガイド - バージョン 7.1』を参照してください。

第 4 章 RDW Web の初期化

既定のプロジェクトプロパティの初期化

RDW Web を以下のいずれかのシナリオで実行する場合、RDW Web で使用するためにプロジェクトを初期化する必要があります。各プロジェクトが初期化されるまで、ユーザーが固有のユーザー設定を保存できない場合や、新しい RDW Web 機能を利用できない場合があります。RDW Web プロジェクトの初期化は、以下の場合に必要です。

- RDW Web が前のバージョンからアップグレードされている場合
- MSTR 6.x から MSTR 7 にアップグレードされた RDW 2.5、3.0、または 9.1 プロジェクトに、RDW Web がアクセスする場合
- ユーザーが作成したカスタムプロジェクトに RDW Web がアクセスする場合
- MicroStrategy の VMall プロジェクトに RDW Web がアクセスする場合

RDW Web を 各プロジェクトに対して初期化するには、次の手順に従います。

- 1 プロジェクトの管理者として RDW Web にログインします。既定の URL は `http:<webserver>/rdwweb/` です。
- 2 管理者がプロジェクトにログインすると、RDW Web は必要に応じて自動的にプロジェクトプロパティを設定します。アプリケーションの初期化中は、確認メッセージが表示されます。このプロセスには多少時間がかかる場合があります。初期化が完了すると、RDW Web インターフェイスが表示されます。
- 3 上記の条件に一致した、RDW を介してアクセスされる各プロジェクトに対して、このプロセスを繰り返します。

付録 A RDW Web 設定チェックリスト

チェック事項	✓
要件の確認	
• MicroStrategy バージョン 7.1.5	
• Web サーバーマシンの Windows 2000 および MicroStrategy Web 7.1.5	
• Intelligence Server が利用可能	
• クライアントマシンのブラウザおよび Excel/Word のバージョン	
• ユーザー権限	
設定ユーティリティの実行	
• setup.exe の実行	
追加設定	
• RDW Web に対する読み取り権限の許可 (オプション)	
MicroStrategy Web の設定	
• Intelligence Server の接続	
RDW Web の初期化	
• 管理者としてプロジェクトにログイン	

付録 B よく寄せられる質問

RDW Web の開始ページはどこですか？ 既定 URL を教えてください。

<http://<webserver>/rdwweb/> または <http://<webserver>/rdwweb/login.asp>

Internet Information Server のインストールおよびマニュアルはどこにありますか？

IIS 5.0 は、Windows 2000 インストールの一部です。Windows 2000 の初期セットアップ中にインストールされなかった場合は、[コントロールパネル]、[アプリケーションの追加と削除]、[Windows コンポーネントの追加と削除] の順に選択して追加できます。IIS 5.0 のマニュアルは、Web サーバーマシンに IIS をインストールした後、<http://<webserver>/iishelp> で参照できます。

ログインしたときに管理フォルダおよびリンクを参照できませんが、なぜでしょうか？

RDW Web Administrator は、MicroStrategy Desktop を介して設定された以下のユーザー権限を持っている必要があります。

- Web ユーザー
- Web 管理
- オブジェクトのセキュリティアクセスチェックをすべてバイパス

ユーザーが固有のユーザー設定を保存できませんが、なぜでしょうか？

RDW Web は、プロジェクトに対して初期化する必要があります。プロジェクトを初期化するには、第 4 章「RDW Web の初期化」の手順に従います。

マイレポートフォルダや Desktop の \公共オブジェクト\レポートフォルダで作成される非表示フォルダは何ですか？

レポートグループは、非表示フォルダとしてメタデータに格納されます。
"RDWWEB レポートグループ" 非表示フォルダ内に含まれている個々の非表示フォルダは、レポートグループを表しています。これらの非表示フォルダを削除すると、レポートグループが削除されます。

RDW Web を介してログインできないのですか、なぜでしょうか？

- MicroStrategy Web Administrator を介して、1 つ以上の Intelligence Server が接続されていなければなりません。
- RDW Web が十分なオペレーティングシステム権限を持っていない可能性があります (第 2 章の「追加設定」セクションを参照)。

付録 C RDW EIS または RDW Web 1.0 の削除

RDW EIS または RDW Web 1.0 はいいつでも削除できます。RDW Web 2.x をアップグレードするには、このマニュアルの第 2 章の手順に従います。最良の結果を得るためには、RDW Web 2.2.2 をインストールする前に RDW EIS または RDW Web 1.0 をアンインストールおよび削除し、環境をクリーンに保って整合性を維持します。

重要: MicroStrategy 6.X データベースを使用する予定がない場合や、Windows NT Web サーバーを Windows 2000 にアップグレードした場合、これらの手順は必要ありません。

データベースオブジェクトの削除

RDW EIS

RDW EIS 表、トリガ、およびシーケンスは、データベースから削除できます。現在の RDW パッチステータスに応じて、これらのオブジェクトはメタデータまたはデータマートの所有者によって所有されます。

SQL Plus などのデータベースツールを使用する場合は、次の手順に従います。

- 1 RDW EIS 表の所有者としてデータベースにログインします。RDW EIS 表の所有者が不明な場合は、データベースに照会して表 `sys_workbench` の所有者を確認します。そのユーザーは、すべての RDW EIS 表の所有者である必要があります。
- 2 スクリプト `rdweis_drop_tab.sql` を実行してオブジェクトを削除します。スクリプトは、RDW Web インストール CD の `\Scripts` フォルダにあります。

重要: これらの表が複数のワークベンチ/データベーススキーマに存在する場合は、各スキーマの所有者としてスクリプトを実行する必要があります。

RDW Web 1.0

RDW Web 1.0 表およびビューは、データベースから削除できます。RDWWEB ユーザーは表を所有します。各メタデータユーザー (`dss91cat_md` など) は、ビューのセットを所有します。

SQL Plus などのデータベースツールを使用する場合は、次の手順に従います。

- 1 データベースにメタデータユーザー (`dss91cat_md` など) としてログインします。
- 2 スクリプト `002_drop_views_rdwweb.sql` を実行してビューを削除します。スクリプトは、RDW Web 2.2.2 インストール CD の `\Scripts` フォルダにあります。
- 3 各メタデータの所有者に対して手順 1 と 2 を繰り返します。

- 4 RDWWEB ユーザーとしてデータベースにログインします。
- 5 スクリプト 001_drop_tables_rdwweb.sql を実行して、表を削除します。スクリプトは、RDW Web 2.2.2 インストール CD の \Scripts フォルダにあります。

仮想ディレクトリの削除

IIS Internet Service Manager を使用して、以下の仮想ディレクトリを削除します。

RDW EIS

- rdw91 (または rdw30 など同等の仮想ディレクトリ)
- rdw91help
- rdw91adminHelp
- images

RDW Web 1.0

- rdwweb (または rdw30 など同等の仮想ディレクトリ)
- rdwwebHelp
- rdwwebAdminHelp
- rdwwebConfigureHelp
- images

DLL の削除

- 1 Microsoft Transaction Server Explorer を使用して、RDW パッケージの選択および削除を行います。

RDW EIS の場合:

- 2 NT コマンドラインから、rdw91 bin ディレクトリ (`<full path>\mstr6\dssweb\rdw91\bin\` または同等のディレクトリ) に移動し、コマンド `regsvr32 /u rdweis.dll` を実行します。

RDW Web 1.0 の場合:

- 3 NT コマンドラインから、rdwweb bin ディレクトリ (`<full path>\mstr6\dssweb\rdwweb\bin\` または同等のディレクトリ) に移動し、コマンド `regsvr32 /u rdwweb.dll` を実行します。

ファイルおよびフォルダの削除

重要: RDW EIS または RDW Web 1.0 ファイルをカスタマイズした場合には、可能であれば、変更のバックアップコピーを作成し、そのカスタマイズを新しい RDW Web 2.2.2 ファイルに適用します。

Windows エクスプローラを使用して、次のディレクトリおよびその内容 (サブディレクトリなど) を削除します。

\rdw91 または \rdwweb (または \rdw30 など同等の仮想ディレクトリ)